

2025年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

東

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所
コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 代表執行役員 社長 (氏名) 藤田 晋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
定時株主総会開催予定日 2025年12月12日 配当支払開始予定日 2025年12月15日
有価証券報告書提出予定日 2025年12月12日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の連結業績(2024年10月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	874,030	9.1	71,702	78.9	71,743	80.6	31,667	98.2
2024年9月期	801,236	11.4	40,083	79.3	39,715	74.9	15,977	351.3

(注) 包括利益 2025年9月期 42,430百万円(64.4%) 2024年9月期 25,801百万円(136.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	62.52	58.96	18.9	13.4	8.2
2024年9月期	31.56	28.99	10.8	8.0	5.0

(参考) 持分法投資損益 2025年9月期 △244百万円 2024年9月期 △251百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	557,162	275,681	179,992	32.3	355.17
2024年9月期	516,686	250,504	155,634	30.1	307.36

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	79,518	△30,825	△33,860	226,151
2024年9月期	53,231	△38,331	△5,195	211,135

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00	8,101	50.7	5.5
2025年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00	8,615	27.2	5.1
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	19.00	19.00		—	

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	880,000	0.7	50,000 ～60,000	△30.3 ～△16.3	50,000 ～60,000	△30.3 ～△16.4	25,000 ～30,000	△21.1 ～△5.3	49.33 ～59.19

(注) 詳細は、3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期	506,779,600株	2024年9月期	506,344,400株
② 期末自己株式数	2025年9月期	1,107株	2024年9月期	1,098株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	506,492,578株	2024年9月期	506,261,873株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年9月期の個別業績 (2024年10月1日~2025年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	420,726	△3.3	△2,553	—	10,265	△18.2	8,938	△15.2
2024年9月期	435,124	8.0	5,665	17.9	12,553	30.0	10,544	44.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年9月期	17.64		16.55					
2024年9月期	20.82		19.08					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	214,919	49,136	46,516	21.6	91.78
2024年9月期	213,799	47,220	44,643	20.9	88.16

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更に関する注記)	11
(表示方法の変更に関する注記)	11
(追加情報)	12
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	17
(重要な後発事象の注記)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、2016年に開局した新しい未来のテレビ「ABEMA」を中心とした事業拡大を目指しております。昨今、日本のみならず世界においてメディアミックス戦略を中心としたIPビジネスが急成長しており、当社も「ABEMA」と親和性の高いIP事業の強化に取り組んでおります。

当連結会計年度は、メディア&IP事業が高い増収率を継続し、ゲーム事業において大型なヒットタイトルを創出するとともに、インターネット広告の市場成長を取り込み、売上高は874,030百万円（前年同期比9.1%増）と創業来28期増収を継続いたしました。また、メディア&IP事業が10年ぶりに黒字化をし、収益性の高いゲーム事業が大幅増益したことで、営業利益は71,702百万円（前年同期比78.9%増）、経常利益は71,743百万円（前年同期比80.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は31,667百万円（前年同期比98.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

①メディア&IP事業

メディア&IP事業には、「ABEMA」、「WINTICKET」等が属しており、それらが重層的に売上を積み上げ、売上高は231,543百万円（前年同期比15.7%増）と好調に推移し、営業利益は前年同期比8,739百万円増の7,291百万円となり、新しい未来のテレビ「ABEMA」を開局後、10年ぶりに黒字化いたしました。

②インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、AI事業本部等が属しております。

下半期に大型顧客の離脱があったものの堅調に推移し、売上高は461,220百万円（前年同期比6.1%増）となりました。営業利益は、AIを活用した新規事業への投資等により17,602百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

③ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)アプリボット、(株)QualiArts、(株)Colorful Palette等が属しております。

当連結会計年度は、複数の新規ゲームタイトルの大型ヒットに恵まれたとともに海外展開が奏功し、売上高は216,710百万円（前年同期比10.6%増）となりました。営業利益は外部決済への移行効果等もあり60,063百万円（前年同期比96.5%増）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は1,663百万円（前年同期比73.8%減）、営業損失は1,515百万円（前年同期間426百万円の営業利益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は557,162百万円（前連結会計年度末比40,475百万円の増加）となりました。これは、主に売上高の増加に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

負債は281,481百万円（前連結会計年度末比15,299百万円の増加）となりました。これは、主に売上高の増加に伴う未払法人税等の増加によるものであります。

純資産は275,681百万円（前連結会計年度末比25,176百万円の増加）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて15,016百万円増加し、226,151百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは79,518百万円の増加（前年同期間は53,231百万円の増加）となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは30,825百万円の減少（前年同期間は38,331百万円の減少）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは33,860百万円の減少（前年同期間は5,195百万円の減少）となりました。これは、主に転換社債型新株予約権付社債の償還によるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年9月期の業績予想につきましては、広告事業及びメディア&IP事業が増収を継続し、連結売上高前期比0.7%増の8,800億円と想定しております。連結営業利益につきましては、ゲーム事業の特性上、業績への変動要因が大きいため500億円から600億円のレンジを付けた予想にしております。それに伴い連結経常利益においても500億円から600億円とし、親会社株主に帰属する当期純利益は、250億円から300億円といたしました。

また、当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、事業の成長、資本効率の改善等による中長期的な株式価値の向上とともに、配当を継続的に実施していきたいと考えております。

2026年9月期の期末配当予想は、2017年9月期に定めた経営指標「DOE 5%以上」に則り、19円といたしました。

なお、本件につきましては、2026年12月開催予定の第29回定時株主総会に付議する予定であります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	210,041	229,849
受取手形、売掛金及び契約資産	81,152	88,514
棚卸資産	11,594	10,304
営業投資有価証券	18,206	16,339
その他	38,001	45,300
貸倒引当金	△363	△93
流動資産合計	358,632	390,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,697	12,486
工具、器具及び備品（純額）	8,334	7,948
土地	5,682	11,274
その他	563	885
有形固定資産合計	27,278	32,595
無形固定資産		
のれん	14,778	13,894
ソフトウェア	5,000	14,129
ソフトウェア仮勘定	20,543	20,699
その他	8,975	8,039
無形固定資産合計	49,297	56,763
投資その他の資産		
投資有価証券	43,467	46,298
長期貸付金	863	1,154
繰延税金資産	9,332	9,946
その他	28,456	21,020
貸倒引当金	△691	△871
投資その他の資産合計	81,428	77,549
固定資産合計	158,005	166,908
繰延資産	48	38
資産合計	516,686	557,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,235	81,747
未払金	23,503	30,293
未払法人税等	9,709	20,797
短期借入金	600	600
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	20,016	—
その他	40,160	44,352
流動負債合計	168,226	177,791
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	40,439	40,353
長期借入金	45,722	52,418
勤続慰労引当金	3,452	3,734
資産除去債務	2,626	2,668
繰延税金負債	2,802	2,446
その他	2,911	2,067
固定負債合計	97,955	103,689
負債合計	266,181	281,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,440	7,654
資本剰余金	12,296	12,372
利益剰余金	122,704	146,260
自己株式	△1	△1
株主資本合計	142,439	166,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,917	13,551
為替換算調整勘定	277	155
その他の包括利益累計額合計	13,194	13,707
新株予約権	2,644	3,760
非支配株主持分	92,226	91,927
純資産合計	250,504	275,681
負債純資産合計	516,686	557,162

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	801,236	874,030
売上原価	582,472	609,978
売上総利益	218,764	264,051
販売費及び一般管理費	178,680	192,349
営業利益	40,083	71,702
営業外収益		
受取利息	369	400
受取配当金	381	481
受取賃貸料	623	257
その他	378	483
営業外収益合計	1,753	1,622
営業外費用		
支払利息	245	428
投資有価証券評価損	113	217
持分法による投資損失	251	244
貸倒引当金繰入額	599	199
その他	911	492
営業外費用合計	2,121	1,581
経常利益	39,715	71,743
特別利益		
投資有価証券売却益	71	389
固定資産売却益	4	1,759
事業譲渡益	117	—
その他	120	171
特別利益合計	313	2,319
特別損失		
減損損失	5,602	6,319
その他	3,212	1,515
特別損失合計	8,815	7,835
税金等調整前当期純利益	31,213	66,227
法人税、住民税及び事業税	14,398	25,883
法人税等調整額	△3,560	△1,620
法人税等合計	10,837	24,263
当期純利益	20,376	41,964
非支配株主に帰属する当期純利益	4,398	10,296
親会社株主に帰属する当期純利益	15,977	31,667

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益	20,376	41,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,383	546
為替換算調整勘定	56	△110
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	30
その他の包括利益合計	5,425	466
包括利益	25,801	42,430
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	21,784	32,180
非支配株主に係る包括利益	4,017	10,250

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,369	12,218	113,986	△1	133,572
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	70	70			141
剰余金の配当			△7,592		△7,592
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		7			7
連結範囲の変動			333		333
親会社株主に帰属する当期純利益			15,977		15,977
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	70	78	8,718	△0	8,867
当期末残高	7,440	12,296	122,704	△1	142,439

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	7,196	191	7,388	2,092	85,396	228,450
当期変動額						
新株の発行（新株予約権の行使）						141
剰余金の配当						△7,592
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						7
連結範囲の変動						333
親会社株主に帰属する当期純利益						15,977
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,720	85	5,806	551	6,829	13,187
当期変動額合計	5,720	85	5,806	551	6,829	22,054
当期末残高	12,917	277	13,194	2,644	92,226	250,504

当連結会計年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,440	12,296	122,704	△1	142,439
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	213	213			427
剰余金の配当			△8,101		△8,101
自己株式の取得				△0	△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△137			△137
連結範囲の変動			△10		△10
親会社株主に帰属する当期純利益			31,667		31,667
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	213	75	23,556	△0	23,845
当期末残高	7,654	12,372	146,260	△1	166,285

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	12,917	277	13,194	2,644	92,226	250,504
当期変動額						
新株の発行（新株予約権の行使）						427
剰余金の配当						△8,101
自己株式の取得						△0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						△137
連結範囲の変動						△10
親会社株主に帰属する当期純利益						31,667
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	634	△122	512	1,116	△298	1,330
当期変動額合計	634	△122	512	1,116	△298	25,176
当期末残高	13,551	155	13,707	3,760	91,927	275,681

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	31,213	66,227
減価償却費	10,436	9,115
減損損失	5,602	6,319
固定資産売却益	△4	△1,759
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	3,160	1,356
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	98	△6,562
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,832	2,234
前払費用の増減額 (△は増加)	△997	△5,682
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,382	7,178
未払金の増減額 (△は減少)	2,484	4,947
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5,811	1,372
その他	2,831	9,265
小計	60,187	94,011
利息及び配当金の受取額	459	761
利息の支払額	△245	△426
法人税等の支払額	△7,171	△14,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,231	79,518
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△6,679	△10,717
有形固定資産及び投資不動産の売却による収入	21	7,757
無形固定資産の取得による支出	△14,237	△17,060
投資有価証券の取得による支出	△1,342	△1,886
定期預金の預入による支出	△9	△5,000
出資金の払込による支出	△2,117	△3,636
その他	△13,967	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,331	△30,825
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	7,389	9,890
長期借入金の返済による支出	△1,654	△5,783
新株予約権の発行による収入	—	1,050
配当金の支払額	△7,581	△8,093
子会社の自己株式の取得による支出	—	△9,746
転換社債型新株予約権付社債の償還による支出	—	△20,000
その他	△3,348	△1,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,195	△33,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	△434	184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,269	15,016
現金及び現金同等物の期首残高	201,780	211,135
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85	—
現金及び現金同等物の期末残高	211,135	226,151

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、営業外費用の「その他」に含めて表示していた「投資有価証券評価損」は、当連結会計年度において、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた営業外費用の「為替差損」は、当連結会計年度において、営業外費用の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度においては「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業外費用の「その他」に表示していた550百万円は、「投資有価証券評価損」113百万円、「その他」436百万円として組替えたうえで、営業外費用の「為替差損」に表示していた474百万円は「その他」として組替えております。

前連結会計年度において、特別利益の「その他」に含めて表示していた「固定資産売却益」は、当連結会計年度において、特別利益の総額の100分の10を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別利益の「その他」に表示していた124百万円は、「固定資産売却益」4百万円、「その他」120百万円として組替えております。

前連結会計年度において、区分掲記していた特別損失の「事業撤退損」は、当連結会計年度において、特別損失の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度においては「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別損失の「事業撤退損」に表示していた1,758百万円は、「その他」として組替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「固定資産売却益」及び「前払費用の増減額(△は増加)」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。また、前連結会計年度において、区分掲記していた営業活動によるキャッシュ・フローの「事業撤退損」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた71百万円は、「固定資産売却益」△4百万円、「前払費用の増減額(△は増加)」△997百万円、「その他」1,072百万円として組替えたうえで、営業活動によるキャッシュ・フローの「事業撤退損」に表示していた1,758百万円は、「その他」として組替えております。

前連結会計年度において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「有形固定資産及び投資不動産の売却による収入」、「定期預金の預入による支出」及び「出資金の払込による支出」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた投資活動によるキャッシュ・フローの「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△4,976百万円は、「有形固定資産及び投資不動産の売却による収入」21百万円、「定期預金の預入による支出」△9百万円、「出資金の払込による支出」△2,117百万円、「その他」△2,871百万円として組替えたうえで、投資活動によるキャッシュ・フローの「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」に表示していた△11,095百万円は、「その他」として組替えております。

前連結会計年度において、区分掲記していた財務活動によるキャッシュ・フローの「短期借入金の純増減額（△は減少）」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、「短期借入金の純増減額（△は減少）」△2,542百万円は、「その他」として組替えております。

(追加情報)

(訴訟の和解成立)

2025年11月7日付「当社連結子会社における特許権侵害訴訟の和解成立に関するお知らせ」で開示した通り、当社の連結子会社である株式会社Cygamesに対し、2023年3月31日付（訴状送達日：2023年5月10日）で、株式会社コナミデジタルエンタテインメントより特許権侵害に関する訴訟の提起を受け係争中でしたが、2025年11月7日に和解が成立いたしました。

本件により、当連結会計年度に特別損失として727百万円を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

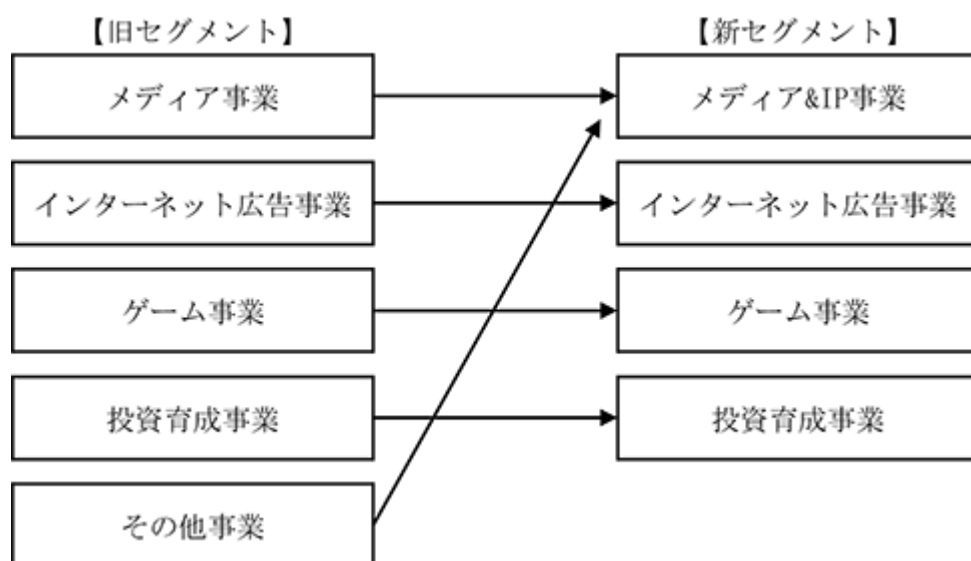
当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別の事業本部及び子会社を置き、各事業本部及び子会社は、サービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「メディア&IP事業」、「インターネット広告事業」、「ゲーム事業」、「投資育成事業」の4つを報告セグメントとしております。

また、当連結会計年度より、新しい未来のテレビ「ABEMA」を中心としたグループシナジーの強化を目的とした新体制に則り、報告セグメントの「その他事業」を「メディア事業」へ統合いたしました。また、アニメ等のIP事業の拡大を目指し、従来の「メディア事業」の名称を「メディア&IP事業」に変更いたしました。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。



各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

報告セグメント	属するサービスの内容
メディア&IP事業	ABEMA、WINTICKET等
インターネット広告事業	広告事業、AI事業等
ゲーム事業	スマートフォン向けゲーム事業等
投資育成事業	ベンチャーキャピタル事業等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額
	メディア &IP	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注2)	186,223	413,022	195,648	6,342	801,236	—	801,236
(1)外部顧客への売上高	186,223	413,022	195,648	6,342	801,236	—	801,236
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	13,954	21,590	337	—	35,882	△35,882	—
計	200,178	434,612	195,985	6,342	837,119	△35,882	801,236
セグメント利益又は損失(△)	△1,448	20,457	30,569	426	50,004	△9,921	40,083

- (注) 1. セグメント利益の調整額△9,921百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額
	メディア &IP	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益 (注2)	217,164	438,811	216,391	1,663	874,030	—	874,030
(1)外部顧客への売上高	217,164	438,811	216,391	1,663	874,030	—	874,030
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	14,378	22,409	319	0	37,107	△37,107	—
計	231,543	461,220	216,710	1,663	911,138	△37,107	874,030
セグメント利益又は損失(△)	7,291	17,602	60,063	△1,515	83,442	△11,740	71,702

- (注) 1. セグメント利益の調整額△11,740百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	メディア&IP	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	計		
減損損失	211	278	5,102	—	5,592	10	5,602

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	メディア&IP	インター ネット広告	ゲーム	投資育成	計		
減損損失	301	399	5,612	—	6,313	5	6,319

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	メディア&IP	インターネット広告	ゲーム	投資育成	計		
当期償却額	385	—	59	—	445	—	445
当期末残高	14,628	—	149	—	14,778	0	14,778

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					全社・消去	合計
	メディア&IP	インターネット広告	ゲーム	投資育成	計		
当期償却額	794	—	61	—	856	—	856
当期末残高	13,756	—	138	—	13,894	0	13,894

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	307円36銭	355円17銭
1株当たり当期純利益	31円56銭	62円52銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	28円99銭	58円96銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	15,977	31,667
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	15,977	31,667
普通株式の期中平均株式数(株)	506,261,873	506,492,578
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)	△93	△79
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	(△89)	(△70)
(うち子会社及び関連会社の発行する潜在株式に よる調整額(百万円))	(△4)	(△8)
普通株式増加数(株)	41,532,410	29,219,406
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(39,323,986)	(26,542,800)
(うち新株予約権(株))	(2,208,424)	(2,676,606)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概 要	—	—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。